

全盲重複障害生徒の国語授業

対象生徒：高等部普通科 1 年男子（全盲）

対象授業：国語（1 対 1 授業）

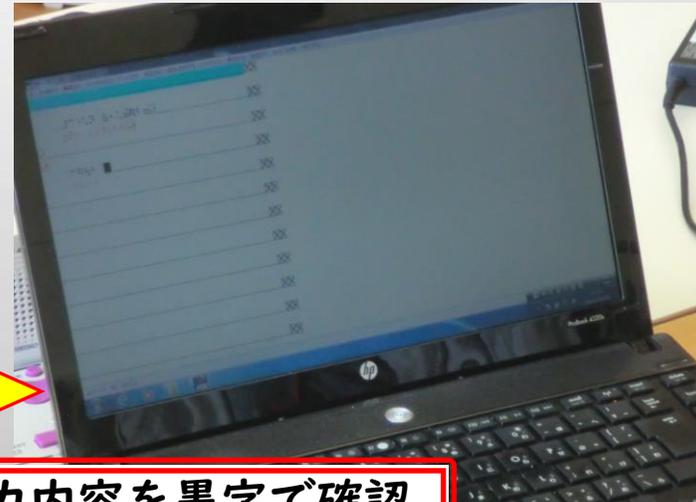
① PCを使っでの点字入力（6点入力）

- ・キーボードは、アルファベット部分のFDSJKL以外を外して、6点入力をしやすくしたものを使用。



① PCを使っての点字入力（6点入力）

- 好きな歌の歌詞や作業日誌などを打ち込みながら、点字入力のスキルアップを図った。
- キーを押すと音声で返ってくるので、6点入力に加え、分かち書きの力を高めることにつながる。



キーボードの入力内容を墨字で確認

② ブライトーカーの活用

- 点字電子手帳（タイプライター）
- 入力内容を音声で確認しながら点字入力でメモができる。
- 点字入力の練習や文章を手軽に作成するのに適している。



② ブライトーカーの活用

- 初めはボタンを操作して、音声を聞くことを楽しむ。
- 徐々に言葉の入力もできるようになり、教師と交互に入力しながら、しり取りを楽しんだ。



2つの機器の利点

- どちらも読み上げ機能があるので、入力したものを音声で確認しながら、間違いなどをすぐに修正できることで、入力スキルや、文章を構成する力を効率的に向上させることが期待できる。